

身延山大学 行学寮

(入寮のご案内)



「身延山大学行学寮（僧道研修コース）」について

1. 目的

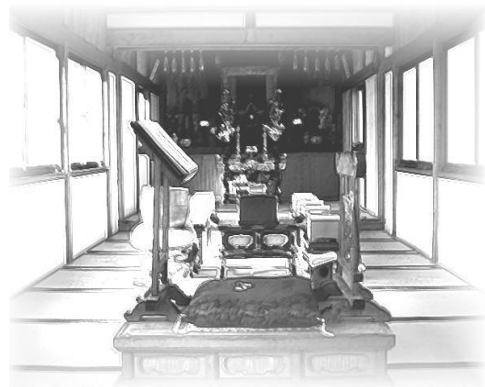
本学の建学の精神に則り、団体生活を通じて寮生相互の親睦を計ると共に、創造性と活力を備えた人格を育む事を目指す。

《僧道研修コースにおける目的》

日蓮大聖人が晩年9ヵ年をお過ごしになられた聖地身延山において、給仕・修行・勉学の行学二道に精進し、僧侶として思いやりある振る舞いを身につけ法要所作を修得します。法華経の弘通に御命を懸けられた日蓮大聖人の御心を深く学び、お釈迦様のお説きになられた法華経に出会えたことに感謝しつつ、学生生活を送ることを目指しています。

2. 入寮資格

- (1) 身延山大学へ入学を希望する男子学生
- (2) 2・3年次編入学生の入寮も可能
- (3) 原則として、日蓮宗の僧侶を目指す学生
- (4) 健康面で心配のない学生



3. 生活態度

- (1) 原則として、朝・夕勤は全員出仕とします。
- (2) 外出は、寮の日課を損なわない事を原則とし、休日の外出は寮監の許可を得て、午後9時迄とします。なお、外泊は事前に『外泊許可願い』を寮監に提出し、許可印を受けた場合のみ許可します。
- (3) 頭髪は五分刈り以下の丸刈りとし、月二回の散髪を行います。なお、寮内及び本山行事参加の際にも散髪を行います。

4. 主な修得目標

入寮から卒寮に至るまでの修得目標

基本的な挨拶及び所作、掃除の仕方、仏具等の使用方法、法要での所作、法衣の着付け及びたたみ方、よく拝読される御妙判・方便品・自我偈・神力偈（別付属含む）・観音偈・開経偈・円頓章・頂経偈・七佛通戒偈・宝塔偈・四誓・運想・声明七曲・五番神呪・六番神呪・食法等の暗誦・総要品を無仮名本にて読誦・塔婆の書き方

(1) 1年次

- ① 仏具の取扱い方及び掃除の仕方。仏飯の上げ方。開経偈・自我偈・神力偈の転読による暗誦。法衣(袈裟・本衣・居士衣・改良服・白衣・袴・行脚格好等)の着付けとたたみ方
- ② 書道（御題目・塔婆の書き方）
- ③ 大太鼓・団扇太鼓の叩き方（宗定太鼓・信者太鼓）
- ④ 鐺鉞の作法。声明七曲の修得
- ⑤ 総要品一々文々による指導
- ⑥ 声明句頭師金座作法

(2) 2年次

- ① 金座・木座諸役の所作
- ② 要品雨だれにて読誦
- ③ 夕勤時5分間法話

(3) 3年次

- ① 寮朝夕勤時の導師所作
- ② 要品中拍子にて読誦
- ③ 夕勤時10分間法話

(4) 4年次

- ① 寮朝夕勤時の導師所作
- ② 回向文の作成
- ③ 要品中拍子にて読誦
- ④ 寮内清掃の指導

5. 日 課

夏時間(4月1日～9月30日)	冬時間(10月1日～3月31日)	内 容
時 間	時 間	
5 : 3 0	6 : 0 0	起床
6 : 0 0	6 : 3 0	朝勤
6 : 4 5	7 : 1 5	朝食
7 : 1 5	8 : 1 5	清掃
8 : 4 5	8 : 4 5	登校
1 2 : 0 0	1 2 : 0 0	昼食
1 7 : 0 5	1 7 : 0 5	下校
1 7 : 3 0	1 7 : 3 0	夕勤
1 8 : 3 0	1 8 : 3 0	夕食
1 9 : 0 0	1 9 : 0 0	夜勤 又は 研修
2 0 : 0 0	2 0 : 0 0	入浴
2 1 : 0 0	2 1 : 0 0	点呼・消灯

※研修が無い場合は自由時間になります。

6. 年間行事予定

月	行事予定
4月	入寮式・新入生オリエンテーション
5月・6月	施餓鬼法要・開關会入山行列参加・新入生歓迎会
7月	静岡市安倍川祭慰霊行脚及び法要出仕
8月・9月	夏期休暇 1・2年生(8月上旬から9月下旬まで)
	3・4年生信行道場入場
10月	お会式万灯講参加
11月	水行開き
12月	冬期休暇(12月下旬から1月上旬まで)
1月	寒修行
2月	寮生旅行
	春期休暇 在寮生1～3年生(2月上旬から3月下旬まで)
3月	卒寮生報恩読誦会・卒寮式
本山朝勤(週3日出仕)・学校行事・入学式・卒業式・本山法難会等への出仕 月1度の茶話会(誕生日会)・激励会等	

※夏季・冬季・春季の休暇中には帰省することが出来ます。

7. 寮 費 (年間)

内訳	金額	備考
----	----	----



入寮費	60,000 円	初年度のみ一括納入
管理費	188,000 円	
食 費	350,000 円	1 日 3 食
合 計	598,000 円	分割納入可

8. 入寮関係書類一覧

(1) 入寮願い (2) 身上書 (3) 健康診断書

※入寮許可は選考審査後行い、入寮許可者には必要な書類を送付します。

9. 在寮生からの言葉

寮長 4 年 埼玉県出身 品川 敦紀

行学寮は大学の法器養成の寮です。寮生活を通じて僧侶として必要な法要所作や読経、そして心構えも学ぶことができます。厳しく規律正しい面もありますが、1 年生から 4 年生まで一つにまとまって寮生活を送るので、団結力がありそしてアットホーム的な面もあります。入寮する前から 4 年間も本当に続くのかなと思悩むより、寮生活を送らなければの本当の寮良さは分からないと思います。多くのすばらしい先輩がこの寮から旅立っています。私もこの寮生の一員となれたことに誇りを持っています。

3 年生 (平成 24 年度 3 年次編入生)

長野県出身 青木 聡

私は、ある縁をきっかけに身延山大学の 3 年次に編入学をしました。在家出身で仏教や日蓮宗の知識もほとんどありませんでした。

行学寮では、そんな私でもついていけるように教えてもらえます。やる気さえあれば、問題ありません。団体で生活する寮なので規則はあります。しかし、それ以上に互いを磨き合い、励まし合える仲間ができることは大きいと感じます。来年、多くの新寮生と出会い行学の二道を学べることを楽しみにしております。

3 年生 (平成 24 年度 3 年次編入生)

岐阜県出身 赤林 英双

私は僧道実修生として、1 年間身延山久遠寺で、御給仕させていただきました。しかし行学の二道をさらに深めたいという思いと、宗門の教師となって、檀信徒・未来ある子供達・あらゆる方々と話す時に、厳しい寮生活を送ることで、人との接し方、導く為の考え方から立ち居振舞いなど所作一つとっても、行学寮でなければ経験できないと思います。特に生活面での僧侶としての毎日の過ごし方を考え、実践することができ、本当に感謝しています。

1 年生 福岡県出身 穂吉 正治

行学寮に入寮してから、毎日が勉強の日々です。行学寮は行・学以外にも団体生活などの必要性も併せて教えてもらえます。また、外部からの講師の先生などもいらしていただき、僧侶としての基本的な事から応用的な事まで様々教えてもらえます。特殊な環境であるため、入寮前は不安を感じる事も多々ありましたが、模範になる先生・先輩方が身近にあり、何でも教えてもらえるので、とてもよい勉強になります。まだまだ至らぬ事が多くありますが、今後とも行学の 2 道に励んでいきます。

10. 問い合わせ先



〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延 3567

身延山大学 行学寮担当係

TEL 0556-62-0107

FAX 0556-62-0727